いわき民報

發行所 いわき民報社
平市平田町一番地（電話三三八一）
編輯兼發行人 印刷人 千輝克己
日刊（月曜日を除く）
定價 一ヶ月 五円 一部 二十錢

主力鑛の減炭が響く

四月來の出炭目標に達せず

東北地方の主力をなす常磐炭田の四月來六月迄の出炭量は目標四十三万噸に對し四十一萬五千噸で、目標に達してゐない、中小炭礦が何れも目標を突破し殊に小野田炭礦、赤井日曹等が素晴しい業績を示してゐるのに、この不振は大炭礦が加配米問題で、生産意欲を阻害され著しい減産を示したのに依るもので六月の狀況をみても（括弧內目標）

▼常磐炭礦五三、〇〇〇噸（五八、〇〇〇噸）▼古河炭礦二一、三〇〇噸（二五、〇〇〇噸）▼大日本炭礦一二、二二六噸（一四、〇〇〇噸）

以上のやうな狀態である、然し加配米問題も去る二十日來漸く六月以前の如く復元されることになつたので本月はこの下旬に於いて馬力をかけ目標の十四萬七千噸に對し十四万二千噸は最低出炭せしめやうと磐山監督局平支所では極力督勵に努めてゐる

山田、川部兩村も完遂

薯の供出成績は極めて順調

石城地方事務所、平食糧檢査所等の必死の供出促進は八月を後六日後に控へて縣內一の供出量を獲得すべく猛運動中であつたが、各農家の供出意欲も之に即應、遂に二十五日現在で六五、一パーセントを突破、完遂町村は割當額の約二倍供出の大野村を筆頭に山田村、川部村が完遂（川部は種薯は未供出）九割臺は平、錦、豊間、渡邊、大浦、勿來、上遠野、湯本が八割臺に七割臺には神谷、草野、高久、江名が迫り割當數三萬六百六十七俵に對し一万九千九百七十五俵に達した

受驗生への講習會

岬會主催の下に

平商岬會では平商生で上級學校へ進學せんとする上級生中心に受驗生のために夏期講習會を計劃、幹事長金田操君を中心に準備中のところ、いよ〳〵二十六日開催した講師課目は左の通りだが二十六日は先づ服部校長及び稻島正君が岬會を代表して開講の辭を行つた尚、開期は八月六日迄とある

▼英譯鈴木謙太郎▼英作文金田操、馬目英一▼數學佐藤忠雄▼物象武田三郎、田口行男▼國文菊地信榮▼國文法下山田平商教諭

開業
內科 小兒科 性病科
平市鎌田町（舊白土醫院跡）
矢吹醫院
矢吹大一郎
電話八二八

磐中水泳代表

縣男子中等校水泳大會は二十八日福島師範學校プールで開催されるが、平代表として磐中の左記四君が出場する

▼平泳二百米庄司榮三郎（五年）▼クロール百米大槻明（三年）▼バック百米佐藤孝俊（五年）▼補欠向田彰之（二年）

社會黨青年部結成準備協議

日本社會黨常磐支部青年部結成準備會は二十八日午後一時から平商業學校（舊平陽女學校）で開く

平工生の奉仕

中等學校は二十五日から來月二十日迄暑休となつたが、平工業學校では休暇中毎日五十名宛交對で燒跡の堤の清掃、學校の復興作業に從事し、一方上級生は約十五名大阪造船所の奉仕作業等も實施する

町の態度は輿論無視

內鄉の健保問題漸くもつれる

內鄉町の國民健康保險組合問題は六月常會、で部落會長側から事業停止が提案され一度滿場一致で決議されたにも拘らず、理事長たる根本町長は極力復活を策してゐる、この町長の態度に憤慨した常會での提案者第五部落會の宮下秀貫氏は、常會で一度決議したものを再審議するのは全町民の輿論を無視した行動である、自分があの提案をしたのは個人の感情でなく町民の輿論を代表してのものである、萬一の場合は町民大會を開いても町長及び一部町議連の態度を飽迄糺彈すると意氣まいてゐるので成行を重視されてゐる

親和會で配給開始

湯本町戰災者親和會では同町七中町一三〇番地に配給所を新設し內容も完備したので二十七日午前九時より同配給所で辨當箱十九ヶ一ヶ六圓、盆笊十九ヶ一枚五圓五十錢（數量僅少のため希望會員先着順石城地方事務所配給先）家庭藥オゾ三圓五十錢、ツケ木一パ六圓、醬油一升二十三圓（希望會員分配）等の配給を開始した、尚同親和會基金にと千圓常磐石炭礦々業所、五百圓品川白煉瓦會社、百圓湯本町在住秘名氏等よりの寄附もあつた

寶籤郡割當

第五回寶籤の發賣期間は七月二十五日から八月十五日迄とあり石城地方事務所では三千枚の割當を各隣組單位に割當た

平高女生が引揚者接待

平高女では夏委休暇を利用し、全校高學年生を以て毎日九人宛交代に引揚者磐城聯盟の驛前案內所に出動、引揚者の接待に全面的に乘り出すことになつたが休暇後も出動する豫定とある

青年辯論大會

湯本礦勞組主催

常磐炭礦湯本礦勞組青年部では二十八日午后一時から湯本町自治會館に常磐地方青年辯論大會を開催する

衣料品の割當決定

消費人口別に依り委員會で

去る二十日の配給委員會で決定した第二回衣料品の消費人口別に依る各町村の割當は追加入荷品をも加へて左の通り決定した

平一九、九五八点、內鄉一九、六六一点、好間一一、八五二点、神谷二、八四六点、飯野二、六一三点、夏井一、九九四点、高久二、二二二点、草野三、七三〇点、赤井六、七二五点、上下小川三、四〇一点、永戶箕輪三、四〇六点、澤渡三阪一、三四一点

イモの供出に清酒特配

十一石四斗四升

二十一日現在で石城の馬鈴薯供出成績は五六％を示したが、割當の一般用四六萬五貫、種子用九萬六千百二十貫の完遂の場合の特配として清酒十一石四斗四升が割當てられた、尚燒酎の場合は清酒一升に對して燒酎八合の割とある

町長の公選に大井川氏出馬

湯本町長公選は八月九日と決定したので町長候補者として立候すべく一番乘りに町議大井川正己氏（四四）が野村智遜氏の責任者で二十五日名乘りを擧げた

寢苦しい一時を名映畫鑑賞で納涼

〝巴里の屋根の下〟短期公開

期日　二十六、七兩夜八時半より
場所　平館（普通映畫閉館後）
特別奉仕入場料　二圓平均（階上階下）

本社は平館と特別契約し、市民慰安のため「名畫鑑賞の夕」を催すことになりました。多數御來館を待つ

いわき民報社

遺家族へ襦袢配給

四倉町では二十九日午前九時から十一時迄遺家族に對し夏襦袢一枚（七圓）を配給する

平市內の戰災者調

衣料品其の他の配分狀況からの調査に依ると六月現在で市內の戰災者、引揚者、其の他の數は左の通り

現住地戰災者三、四二九、戰災疎開轉入者二、四九一、引揚者七五八、其の他六二四

ヨイコ達に西瓜の贈物

夏の美果、西瓜の特配は市內三才—十三才迄の兒童に一人宛百三十匁（一圓二十五錢）二十五、二十六の兩日區內一括で田町キャンデー屋外二ヶ所で配給された

平署輸送主任更迭

平署輸送主任近藤警部補は二十一日附で郡山に榮轉、新主任として警部補大橋正吉氏が着任した

灌漑用水に上水道盜用

小名濱町會で問題となり成行重視

小名濱町では二十五日町會を開き、本年度豫算更正外六件を附議、原案通り可決した、尚この席上金澤議員から渴水期の六月中旬上水道の消火栓を破り盜水し灌漑用に使用した事實あるに對し町當局はこれを如何扱つたかとの質問あり、これに對し現場調査の結果消火栓敷設個所に竊かにいつにでも放水し得る裝置を施してあるのを發見直に除去した、これにより今后かゝる不正は絕對にあるまいと答へ、更らに萬一この事件に役場關係者が協力してゐるとすれば斷乎たる處分をする方針であると言明、一先づその場は納まつたが一部町議中には町のこの態度は手緩し、かゝる公盜は飽迄も犯人を追究、將來のため嚴重なる處斷をすべきであると刑事問題にまでしやうと意氣まいてゐる向もあるので今后如何に展開するか成行を注視されてゐる

鰐ケ淵に投身

久の濱町波立藥師海岸鰐ケ淵に二十五日朝九時頃に風呂敷包と女下駄一足が脫ぎ捨てゝあるのを浴客の須賀川町日本通運須賀川支店事務員渡邊明男氏が發見四倉警部補派出所に屆出た、風呂敷包の中には六十七圓三十二錢入りの女物財布、黑皮ハンドバック、八型腕時計、石鹸箱一個、平市下河原一今井トク記名の簡易保險通帳及び男帶一本等が入つてゐた、直に手配中間もなく同海岸へ女死体が漂着したので目下身許調査中

學生聯湯本で感謝慰問音樂

日本學生綜合聯盟が主体となつての感謝慰問は二十六日午後七時から湯本國民學校講堂で音樂會を開催、終了後町青年會、炭礦青年部と中央文化と地方文化の交流、思想と政黨等々の座談會があり十時盛會裡に終了したが、二十七日湯本町に滯在休養することになつた

いわき寸言

▲四月來の出炭量目標に達せず、小炭礦の增産に拘らず、その始末は加配米問題等から主力炭礦の減産が大きく響いてゐるといふ、加配米も漸く復元したから今后は增産の嬉しい數字をみせて欲しいもの

▼內鄉の健保問題漸くもつれる宮下秀貫氏の憤慨も一理あるといふもの、この問題の解決は愼重であれ、かゝることから町政一般に響があつてはそれこそ問題ではある

▼イモの供出完遂者には清酒の特配を行ふといふ、今度は本當に特配するかとあるが、政府の虛言に農民もなか〳〵信用し難いとみえる、無理からぬことではある

▼イモの供出成績意外によく、山田、川部兩村も完遂、湯本、勿來、上遠野も九割臺となる、有難い限り、感謝の意を表す

工員募集
瓦斯熔接工　若干名
板金工　若干名
鑛山用製鑵工事及火造
ボイラー製作及修理
パイプ配管工事
魚船用金物一式
瓦斯熔接並電氣熔接
セメント瓦型製作
古川鐵工所
代表者 古川直治
平市鍛冶町五
電話五三三番

引揚者の就職問題は

當面の看過し得ない緊急事

引揚者の現狀は極めて悲慘なものがあるため、これが援護は各方面から極力叫ばれ種々なる方策が研究され實施されてゐるが、さてその實を擧げるとなるとなか〳〵に困難なことが尠くない、殊に引揚者が最大の悩みとしてゐる問題は住宅の問題と就職の問題であるが、この中就職面についてみると、そこに幾多の難關が潜在してゐる。果してこれを如何に解決すべきか、職なくしての生活は許されぬだけにこれこそ引揚者の今後の生活設計を基礎づける重大な問題である。輕々には見過し得ない問題であるだけに一般の關心も深い、今平勤勞署の方策を覗いてみる――

住との分離が問題

就職事情に疎いのも一原因

先づ引揚者の方面からみると過日の懇談會を通じてうかゞへることは、各人共永い間内地を遠く離れて生活してゐたゝめに内地の就職事情に極めてうとくなつてゐるので、どんな就職をすべきか自己の判斷もつきかねる、その上幸運にも就職の機會がみつかつても今度は住居の問題で惱み、折角の好機を逸してしまふといつた狀態で、一般の就職者より著しく各種の條件に於いて不利な立場に置かれてゐる、これが根本解決の一つとしては是が非でも住生活の安定を與へることが、最大の緊要事であるので、この點については市當局とも協力解決したい、市でも例の住宅緊急措置令を中心に協力解決をしてくれるとあるので、勤勞署では專ら就職面の開拓に全力を注ぐ方針である

一時預り品金融
湯本町東町二三七　青柳

特異性考慮 協力要請

求人側全般に對し

然し求人側の面では、引揚者は大体に於いて相當の年齢に達してゐる上に、家族持ちが多いので、就職せしめるとなると家族手當の面その他で相當の支給をせねばならぬ、一般就職者でも終戰後金融面の窮屈さ等から獨身者とか家族數の少いものが歡迎されてゐる折柄だけに兎もすると嫌ふ傾きにあるのが偽らぬ現況である。從つて就職の斡旋もなみ〳〵ならぬ苦勞がある譯で、勤勞署でもこの点で苦しんでゐるため、これが打開には引揚者の今日迄海外にあつて祖國のために汗の勤仕をした点や現在の窮狀を訴へて、特別の同胞愛による協力を縋む外はないとあつて、同署では二十六日管內各會社工場事業所に、それ〴〵協力要請狀を發した

小口信用貸金
湯本町東町二三七　青柳

勞調法の反動性

――資本家の新なる攻勢に備へよ――

大井川幸隆

（四）

勞調法の階級本質は以上の如く規定されることは勿論であるが、この反動的性格については勞調法委員會席上に於ても自由黨代議士花月純誠氏すらが「勞調法は資本家を擁護し、勞働運動を抑へようとする意圖が」あり、「勞働運動は上から抑へようとしてもこれをなくすることは出來ない」と口先だけ勞働者の味方づらをしてゐる。これに對して河合厚相は「勞調法は勞組法と共に日本經濟の興隆を企圖したもので前者は後者の姉分ともいふべきものである」と憤慨に堪えぬ[illegible]言を並べて時代錯誤的な勞法を正當づけようと試みてゐる。日本經濟の再建は勞働者階級の創意と協力なしでは達成されないし、ブルジョア階級の利益に奉仕する勞調法の如きは勞働者階級全体にとつて有害であり、日本經濟の再建にも重大な障害となるであらうことは言を俟たない。

（五）

吉田内閣成立直前の食糧メーデーをターニングポイントとしてブルジョア階級の勤勞大衆に對する攻勢は加速度的に强つて來た。その露骨なあらはれがこの欺瞞なる勞調法であり、これによつてブルジョアジーは自己の保全を計り同時にまた勤勞者大衆に對する反撃を强化するための橋頭堡を確保しようとするのである。故に我々はかゝる惡法の撤廢を要求すると共に、全國の勞働組合――いかなる色合を問はず――を動員して假借なき反對闘爭をくりひろげこの惡法を撤廢せねばならない。勞働者階級自らの手によつて守られることを銘記すべきである。

（一九四六・七・一九）

開放　投書を歡迎す　要領批判結構　紙上匿名可

配給店の惡

▼…配給面の問題に就いては本欄でも從前から屢々いろ〳〵と書かれてゐるが自分も一言市當局及び地區配給統制組合側に申上げて御注意と警醒を要望したいと思ふ

▼…それは過日久方振りに各家庭へも食油が配給された、私のところも家族五人なので五合の配給である、油氣が切れて榮養失調症も憂慮されてゐる折柄、大喜びでゐた

▼…ところがいざ買つて來てみると驚いた、僅か二合でありながら三勺も不足してゐる、これは第十一區でのことである、二合から三勺宛うかせてゆけば十戸で三合、百戸では三升となるこのういたものはどこへゆくのであらう？

▼…これは又戰災者に對して先般服地が配給された、配給された切符には二ヤールとあり配給店も指定されてゐた、その配給店はK呉服店となつてゐたもの不足で裸の折柄大喜びで直ぐさま買つて歸り、尺を計つてみると二ヤールで三寸余不足してゐた

▼…二ヤールで三寸余不足してゐるとこの殘つたものは油同樣に何處へゆくのであらう？配給店の余德とされるのであらうか又は地區統制組合へ返還されるのであらうか？

▼…何れにせよ明示されてゐるだけの數量の頭をはねることは配給店の惡德ではあるまいか？配給手數料ではいくらも儲けとならぬので、尺や量で巧みにうかせてこれを闇に流すとしか考へられぬ

▼…配給に賴る外ものを得られない貧しいわれ〳〵がこんな不正なことをされたのでは生活してゆけない、市民大衆の生活を考へ、當局はこれら不正店は配給面からオミツトするやうにして貰へまいか？

（十一區住人）

生活文化

石城歌話會の開催に就いて

小濱常司

愈々七月二十八日に第一回の歌話會を小名濱で開くことになつた。佐川氏がこの會を提唱するや郡下各地からの反響は豫想外に大きく、この企圖が我々のみの待望でなかつた事を當然の事ながらはつきりする事ができたのである。以來我々は期日や會場や當日のプログラムなど大きな期待に燃えながら協議と準備に忙殺されて來たのであつた。案內狀を出して見て石城には我々の知らなかつた人達の多いのに一驚した。殊に新人の積極的な意欲が見られる事は今後の石城歌壇の隆盛を約束するものであらう。尙此の他にも澤山有るに違ひない。お互に誘ひ合はれて多數の參會を希望するのである。會場は藥港に面した小名濱河口の橋畔にあつて、清涼な海風を滿喫しながら七月の藥港を展望するに絕好な場所である。我々はこゝで語り、或ひは海邊を消遙しつつ、一日の清興に心を洗ふ事にならう。先づ我々の老人組はお互の久濶を敍すると共に十年前の野發や更に遡つて南厚や月刊文藝や歌集〃はまゆう〃頃の追憶にひたるだらう。磐城新聞での論爭時代などこよなき懷舊の話題である。だが懷舊談で持ち切りになつては大變だ、何と言つても新人と新來者とが壓倒的に多いのである。新人の爲には作歌上の參考になるやうな、新來者の爲には石城歌壇の歷史的輪廓を把み得るやうな話をそれぞれの方にお願ひしたいのである。又新人や新來者の方には質疑やら經驗談などを話して貰ひたい。未だあまり知られなかつた歌の[illegible]や[illegible]などの話がどんなに興味深い事であらう。準備された參加者の作品に就て忌憚ない感想が交はされる事だらう。何にしても意味深い一日たらしめたいと念願する。

「うつぼつたる詩的想念に豐しいまゝであればよい。」とは尚木氏が「石城歌話會への期待」で吐露された所である。我々はあらゆる結社的地域的職場的立場を超越して全石城歌人の一大集合体を結成したいのである。さうしてお互は個人としての立場を[illegible]も拘束される事なくお互の歌文學愛好者としての親睦と交流をはかつて行きたいのである。石城歌壇の主流たらんとか地方文化の先驅たらんとかの野心は些も持つてゐないのであるから、輕い氣分で參加していたゞきたい。できるならば此の機會に石城歌人名鑑といつたものを歌話會から發行したいなどと考へてもゐるのである。大方の御援助を切望する。

いわき俳壇

平俳句會

同人抄（二十）

草野泉匠
[illegible]の夜[illegible]くまなく[illegible]いでね
磯の香の潮風に明けゆく漁村かな

遠藤秋朗子
手には子の夢それ〴〵にさくらんぼ
たそがれの雲濃くなりぬ額の花
夕雨くだけまとまる田植かな
行きづりに喜雨の挨拶かはしゆく
夜濯の音のみありて月まどか

眞珠會（小名濱）

あざみ抄（一部）

石井芳江選

矢野光虎
午よりの雨に田植を終しけり
高木玲子
五月雨や雫つらねし蜘蛛の糸
森田一舟
浮御堂見ゆる時ありさみだるゝ
高木可水
田一枚植えて大きく水明り
松原正男
一の田も二の田も蛙さみだるゝ
佐川英紗
一村は雨の中なる田植かな
濱田高月
打ち返す波の白さにさみだるゝ
竹崎清志
さみだれに新刊の句誌とゞきたり
砂澤白泉
五月闇やせきれ岩に身振りきぬ
永井鬼堂
青[illegible]風に抗じてあやしげに

選者吟

さくらでをもとに來るとの便りかな
とばしらの草のさくらで賑かに

あざみ抄（二部）

同人互選

木下雅笑
五月雨や背すじつめたく鰈洗ふ
森田一舟
梅雨雲や汐音のんで暮初むる
振り向けば既に風ある植田
木田詩樓
雨だれのリズムに蛙鳴く音
永井鬼堂
燕の子しにせの厨を巣立ちけり

硝子類電球
木工煉瓦製造
佐藤幸太郎
平事務所新田町　電七一・四五五
東京事務所　東京都芝區新橋森ビル　電五七四八三
小名濱出張所　小名濱町[illegible]　電一〇一
工場電話（平）二七三　二九一
三八九　八三九　三五〇

◇御來談下さい◇
熟練工　若干名
見習工　若干名
見習は十四、五才の方
自轉車
リヤカー
修理組立
レクセン自轉車商會
店主　鈴木甚八
小名濱町中坪四